Ｅ２ 本日の試合結果一覧

開催日 **2019/12/08**

2019-20 V.LEAGUE DIVISION1 WOMEN

試合番号 : 391	試合会場 : 金沢市総合体育館	観客数 : 1,254
開始時間 : 12:00	終了時間 : 14:22	試合時間 : 02:22
主審 : 森口　豊	副審 : 種元　桂子	

東レアローズ（通算 10 勝 5 敗 ポイント : 31）	2			3	デンソーエアリービーズ（通算 12 勝 2 敗 ポイント : 33）
		21	第1セット	25	
		25	第２セット	23	
		25	第３セット	17	
		24	第４セット	26	
		12	第５セット	15	

監督コメント（東レアローズ）

　最初に相手のフェイントやプッシュといったブロックをかわすプレーに対応することができず、レシーブ力の悪さが目立つスタートになった。第２セットからは何とか１本目を拾う場面は増えたが、その次のハイセット、トスといった２本目をつなぐ選手が機能せず、サイドアタッカーがどうにか得点に結びつけることができていたが、大きなチームの課題が出てきた。
　大事な場面でのチーム力、修正力が足りず、バタバタするケース、そして簡単にミスを出すことが多い。もう一度チームを作り直さなければならない。
　金沢での２日間、寒い中多くの方々に御声援いただき、誠にありがとうございました。

監督コメント（デンソーエアリービーズ）

　今日もたくさんの方々にご声援頂けたことに深く感謝致します。ありがとうございました。
　ゲームの序盤に、自分達のテンポでプレー出来たことはとても良かったが、相手の攻撃力に押される場面もありました。終盤は、強みである粘りを出せて勝ち切れました。
　今週のフルセットでの２勝を来週以降に繋げていきます。熱い声援が力になりました。ありがとうございました。

要約レポート

　前日勝利を挙げている東レアローズとデンソーエアリービーズの対戦は、激戦の末デンソーが勝利を飾った。
　第１セット、デンソーはスタートから鍋谷の２本のサービスエースを含め４連続得点でリードすると、その後も中元、シニアードのスパイクで着実に得点を重ねた。東レも石川、クランがキレのあるスパイクを決めて追い上げるが一歩届かず、デンソーがセットを先取した。
　第２セットはお互いに抜け出せず、中盤までもつれた展開となる。デンソーが中元、シニアードの強力なスパイクで少しずつリードを広げようとするが、東レはクランの高いスパイクとブロックでの３連続得点もあり、終盤で逆転すると逃げ切り、東レがセットを取り返した。
　第３セットは、第２セットの勢いをそのままに、東レ・クランがスパイクにブロックにと活躍し、序盤にデンソーから５点のリードを奪う。デンソーもシニアードや途中出場の兵頭の攻撃により、簡単に逃げ切ることを許さなかったが、最後は東レの石川がスパイクを決め、セットを連取した。
　第４セットは両チームとも意地を見せ合い、シーソーゲームとなる。24－24となり、デンソーが東谷のスパイク、田代のサービスエースを決め、セットカウントを２－２のタイスコアとした。
　第５セット、デンソーは序盤に田代、鍋谷の連続ブロックポイントでリードする。東レは石川、クランを中心としたスパイクで反撃するが、最後はデンソーの中元がスパイクを決め、勝利をものにした。

試合番号 : 392	試合会場 : 金沢市総合体育館	観客数 : 1,663
開始時間 : 15:10	終了時間 : 17:11	試合時間 : 02:01
主審 : 城　智人	副審 : 吉岡　奈々	

PFUブルーキャッツ（通算 3 勝 13 敗 ポイント : 11）	1			3	NECレッドロケッツ（通算 8 勝 6 敗 ポイント : 24）
		22	第１セット	25	
		25	第２セット	12	
		20	第３セット	25	
		14	第４セット	25	
			第５セット		

監督コメント（PFUブルーキャッツ）

　第１セットに得点のチャンスをものに出来なかったところから、ゲームのリズムが崩れた。もう一度、落ち着いてゲーム運びが出来るように練習して最終レグに備えたい。
　本日も沢山の応援を頂き、ありがとうございました。

監督コメント（NECレッドロケッツ）

　PFUの粘りあるディフェンスで苦しめられる場面が多かったが、ロングラリーを制すことでチームに良い流れを持ってこれた。４セット目は自分達の強みであるブロックディフェンスが機能し、良い形で試合を終えることができた。
　今週出た課題を修正し、来週のホームゲームでの勝利につなげたい。
　本日も寒い中、たくさんの応援ありがとうございました。引き続き応援よろしくお願いします。

要約レポート

　ホームゲームで勝利をあげたいPFUブルーキャッツとNECレッドロケッツの対戦。
　第１セット、序盤流れをつかみたい両チームであったが、NECがリベロ小島の好レシーブから古賀、山内のスパイク、ブロックにより主導権を握った。その後、離されたくないPFUはドリス、村上のスパイクで中盤に追いつき逆転したが、終盤NECの曽我が立て続けにスパイクを決め、NECがセットを先取した。
　第２セット、PFUは堀口の強烈なスパイクやブロックにより好スタートを見せた。その後もドリス、和才、村上のスパイクが次々と決まり得点を積み重ね、大量リードを奪ったPFUがセットを取り返した。
　第３セット、先にセットをリードしたい両チームともに意地を見せ合い、白熱したシーソーゲームとなる。中盤までもつれた展開に転機を見せたのは、壮絶なスパイクの打ち合いを制したNEC古賀のブロックであった。勢いづいたNECはそのままセットを取り、セットカウントをリードした。
　第４セット、後がなくなったPFUであったが、スタートからNECの勢いは止められず、連続ポイントを許してしまう。高相、ドリスのブロックなどで巻き返しを図るが、序盤に許したリードをなかなか縮めることができず終盤に突入する。終盤NECは、荒谷、山内、古賀の効果的なスパイクにより勝利を決めた。PFUは、悔しい敗戦となった。

試合番号 : 393	試合会場 : 加古川市立総合体育館	観客数 : 1,800
開始時間 : 12:00	終了時間 : 13:21	試合時間 : 01:21
主審 : 北村　友香	副審 : グレッグ　ルーオー	

JTマーヴェラス（通算 13 勝 3 敗 ポイント : 37）	3			0	ヴィクトリーナ姫路（通算 3 勝 13 敗 ポイント : 10）
		25	第１セット	18	
		25	第２セット	22	
		25	第３セット	18	
			第４セット		
			第５セット		

監督コメント（JTマーヴェラス）

　交流戦最後の相手はヴィクトリーナ姫路。パワーのあるサイドからの攻撃がオフェンスの中心となるチームなので、ブロックに対しての確認をして準備した。前半は自分達のリズムで進められたが徐々に相手レフト側からの攻撃に対してブロックエラーが多くなりサイドアウトの応酬で点の取り合いとなった。リベロ小幡が素晴らしいディフェンスでチームのリズムを取り戻すと自分達のコンセプトでもある４人攻撃で３－０で勝利することができた。
　２日間たくさんの方々にホームゲームに来ていただきありがとうございました。
　最後３レグもしっかりと良い準備をして戦いますのでご声援の程宜しくお願い致します。

監督コメント（ヴィクトリーナ姫路）

　昨日に続き沢山のご声援をありがとうございました。ＪＴマーヴェラスのような攻守にバランスの良いチーム対して、自分たちがそれ以上に堅実なバレーボールをしなければ勝つことはできない。劇的に何かができるようになることはないですが、シーズンを通して課題としているサーブとサーブレシーブに関して引き続き精度を上げれるようにしていきたいです。
　今日は本当にありがとうございました。

要約レポート

　地元兵庫での２連勝を狙う、ＪＴマーヴェラスとヴィクトリーナ姫路の一戦。
　第１セット、ＪＴはドルーズのスパイクや芥川のサービスエースでポイントを重ねる。姫路も粘り強いレシーブからイブナのスパイクで応戦するが、ＪＴは芥川や林のスパイクポイントでリードを奪い25－18で先取した。
　第２セットは１点を取り合う展開となった。終盤ＪＴはセッター籾井とセンター小川の巧みなコンビバレーで抜け出し、25－22とセットを連取した。
　第３セット、ＪＴはスパイクレシーブとドルーズのスパイクポイントで７－０とリードを奪う。姫路も粘り強いレシーブから松本の力強いスパイクで18－16と２点差まで追いつくが、最後はＪＴが25－18でセットを奪い、セットカウント３－０でホームゲーム２連勝を飾った。

試合番号 : 394	試合会場 : 加古川市立総合体育館	観客数 : 1,300
開始時間 : 15:00	終了時間 : 16:15	試合時間 : 01:15
主審 : 國頭　亮太	副審 : 沢田　元	

日立リヴァーレ（通算 5 勝 11 敗 ポイント : 18）	3			0	KUROBEアクアフェアリーズ（通算 1 勝 15 敗 ポイント : 5）
		25	第１セット	13	
		25	第２セット	18	
		25	第３セット	16	
			第４セット		
			第５セット		

監督コメント（日立リヴァーレ）

　２日間たくさんのご声援ありがとうございました。
　序盤から良いリズムを作り流れに乗ることができました。サーブミスが目立った印象もありましたが、自分達のやるべきことを徹底して、思い切り攻められたことが良かったと思います。
　まだまだ試合は続くので気持ちを切らさずにどんな相手と戦っても自分達のやるべきことを最後まで果たし、次週のホームゲームに備えます。引き続きご声援の程宜しくお願い致します。

監督コメント（KUROBEアクアフェアリーズ）

　交流戦最終ゲームを勝利したいところでしたが第１セットスタートから日立リヴァーレ、タップ選手の高いブロックに攻撃陣がことごとくつかまってしまいました。出足でリズムがつかめていないまま一方的な展開になってしまいました。
　その後もリズムをつかみかけるものの、サーブミス、相手ブロックを崩せずスパイクミスなどで相手にとって楽な展開となってしまいました。
　交流戦の反省を基に、３レグでチームを立て直したいと思います。
　今後ともご声援の程宜しくお願い致します。

要約レポート

　今季初めての顔合わせとなる日立リヴァーレとKUROBEアクアフェアリーズ。両チーム上位進出に向けて勝利したい一戦。
　第１セット、日立はタップが高さを活かしアタックとブロックが冴え独走に入る。KUROBE綿引の連続サービスエースで流れが変わると思ったが、日立・上坂のサーブがレシーブを崩し、ポイントを重ねこのセットを取った。
　第２セット、KUROBE綿引の速攻、浮島、雪丸、白崎の全員バレーでリードするが、中盤以降日立は要所でタップ、佐藤、長内のブロックが決まり25－18で連取する。
　第３セット、後のないKUROBEは、レフトから間橋、雪丸の攻撃が決まった。日立は入澤、タップ、佐藤のブロックが決まり３-０で勝利した。

※本票の著作権は、一般社団法人日本バレーボールリーグ機構に帰属します。

E２ 本日の試合結果一覧

開催日 **2019/12/08**

2019-20 V.LEAGUE DIVISION1 WOMEN

試合番号 : 395	試合会場 : ジップアリーナ岡山(岡山県総合グランド体育館)	観客数 : 2,000
開始時間 : 13:05	終了時間 : 14:35	試合時間 : 01:30
主審 : 西中野 健	副審 : 佐々木 伸子	

岡山シーガルズ	通算 10 勝 4 敗 ポイント : 29	3		0	トヨタ車体クインシーズ	通算 11 勝 5 敗 ポイント : 29
		25	第1セット	23		
		25	第２セット	17		
		25	第３セット	23		
			第４セット			
			第５セット			

監督コメント（岡山シーガルズ）

第１、３セットとも、ブロック・レシーブを含めた粘り強さで、トヨタ車体クインシーズの反撃をかわすことができた試合だった。
昨日に続き、息の切れる時間があったが、控え選手たちの果敢に挑戦する姿勢がレギュラー選手に刺激を与え、いい化学反応が起こった。
これからさらに飛躍できるよう頑張りたい。
２日間に渡り、熱いご声援が大きな力になりました。ありがとうございました。
次回もよろしくお願いします。

監督コメント（トヨタ車体クインシーズ）

まず、ホームで素晴らしいプレーで勝利を飾った岡山シーガスルズを祝福します。
今週の２試合に共通していたのは、リードしている状況を保ちきれなかったことです。原因は、攻撃の選択、ブロックとフロアディフェンスの乱れを修正し切れなかったことにあります。
セッターもスターターとしてプレーするようになって経験が少ないので、こうした敗戦を糧に成長していくことを期待しています。
焦らず、チームの問題点を改善し、長所を伸ばしていきます。
終盤に向けて、応援してくださる皆様とともに工夫と努力を重ね、より強いチームを目指していきます。
岡山は、荒木と志智の故郷ということもあり、多くの皆様の声援をいただきました。

要約レポート

ホームゲームを連勝して10勝にしたい岡山シーガルズと連敗は避けたいトヨタ車体クインシーズの一戦
第１セット、序盤トヨタ車体は８-３とリードするも、岡山は金田、佐々木の活躍により追いつく。その後、両チーム一進一退の攻防が続くも、岡山が20-17と抜け出し、そのまま岡山が第１セットを先取した。
第２セット、勢いに乗った岡山が５-２とリードする。中盤、トヨタ車体は内瀬戸から高橋に交代し流れを変えようとをするが、宇賀神の相手に的を絞らせないトスワークでトヨタ車体を振り切り、第２セットも岡山が連取した。
後がないトヨタ車体は第３セット、立ち上がりから藪田、ネリマンの活躍でリードし、終盤まで岡山が追う展開になるが、粘り強いレシーブから徐々に岡山がリズムを掴み、ピンチサーバーで入った西村のサーブで相手を崩し、エース金田の活躍により22-19と逆転に成功した。トヨタ車体も粘りを見せるが、最後は金田のスパイクで25-23でこのセットもものにし、ストレートで岡山が勝利し、ホームゲームを２連勝で収めた。

試合番号 : 396	試合会場 : ジップアリーナ岡山(岡山県総合グランド体育館)	観客数 : 1,100
開始時間 : 16:05	終了時間 : 17:33	試合時間 : 01:28
主審 : 中山 健	副審 : 増岡 三佳子	

久光製薬スプリングス	通算 6 勝 8 敗 ポイント : 18	0		3	埼玉上尾メディックス	通算 9 勝 6 敗 ポイント : 28
		18	第１セット	25		
		24	第２セット	26		
		19	第３セット	25		
			第４セット			
			第５セット			

監督コメント（久光製薬スプリングス）

本日の交流戦最後の試合をなんとしても勝利で終えたかったが、力及ばなかった。
相手の得点源となる選手を抑えられず、自分たちのリズムを作ることが難しく、苦しめられた。
その中でも第２セット、踏ん張ることができ、良い場面も見られたことを次戦にも活かしていきたい。
この岡山大会で出た課題に取り組み、前に進んでいきたい。
寒い中、会場に足を運んでいただいたファンの皆様、たくさんのご声援ありがとうございました。

監督コメント（埼玉上尾メディックス）

本日の勝因は、昨日の接戦をものにできなかった反省点を活かせて、２セット目を逆転の末、勝てたことです。
試合を通して、吉野とシュシュニャルが高い得点力を維持してくれ、ミドルのサンティアゴと青柳も得点を重ねることで、オフェンスでは常に優位な展開でゲームを運べた。
交流戦、5勝1敗の中で得た課題や自信をこれからの３レグ、さらにはファイナル８以降の戦いに向けて、活かしていきたい。
来週は、ホームゲームでスターカンファレンスが再開します。引き続き応援よろしくお願いします。

要約レポート

交流戦の最終戦を勝利で飾りたい久光製薬スプリングスと埼玉上尾メディックスの一戦。
第１セット、埼玉上尾が吉野のスパイク、ブロックによる活躍で、序盤のリードをキープし、そのままの勢いでセットを先取した。
第２セット、序盤から一進一退の攻防が続くが、埼玉上尾が23点以降、シュシュニャルにトスを集め接戦をものにし、セットを連取した。
第３セット、このセットも序盤から接戦が続くが、20-19から埼玉上尾がシュシュニャル、サンティアゴの両選手の攻撃を中心に５連続ポイントを挙げ、３-０で勝利した。

試合番号 :	試合会場 :	観客数 :
開始時間 :	終了時間 :	試合時間 :
主審 :	副審 :	

	通算 - 勝 - 敗 ポイント : -					通算 - 勝 - 敗 ポイント : -
			第１セット			
			第２セット			
			第３セット			
			第４セット			
			第５セット			

監督コメント

要約レポート

試合番号 :	試合会場 :	観客数 :
開始時間 :	終了時間 :	試合時間 :
主審 :	副審 :	

	通算 - 勝 - 敗 ポイント : -					通算 - 勝 - 敗 ポイント : -
			第１セット			
			第２セット			
			第３セット			
			第４セット			
			第５セット			

監督コメント

要約レポート

※本票の著作権は、一般社団法人日本バレーボールリーグ機構に帰属します。